

事業者向けインターネットバンキングシステム

ファイル伝送取引における操作／機能の変更について

新システムへの移行に伴うファイル伝送取引における操作／機能の変更についてご案内いたします。

パソコンと電子証明書による親和性を向上させるために、従来必要であったパソコンへの Java JRE のインストールを不要としました。これに伴い、電子証明書環境でファイル伝送を実施する際に、ファイル伝送ボタンを押した後に表示される「ファイル伝送を開始します」画面が表示されなくなります。

一方、ファイル伝送時の論理ディスクパスの指定タイミングが変更となり、また、進捗状況インジケータが非表示となります。以下、ファイル伝送取引の外部ファイルのアップロードおよび外部ファイル受信を例に変更箇所を説明します。

[外部ファイルのアップロード]

選択	番号	業務名称	注釈(コメント)	開始伝送日 / 送信者	指定日	合計待致 / 金額
<input checked="" type="checkbox"/>	1	振込振込		-	-	-
<input type="checkbox"/>	2	振替振込		-	-	-
<input type="checkbox"/>	3	振替振込		-	-	-
<input type="checkbox"/>	4	預金口座振替		-	-	-

業務名称のリンクをクリックすると送信テーブルの詳細情報を表示します。
送信テーブルの削除は詳細情報の表示画面から行ってください。

新規 修正 アップロード

①送信テーブルを選択し、アップロードを選択します。

アップロード開始

送信するファイルのパスを指定し、**実行** を押してください。

論理ディスクファイルパス名 (参照)

実行

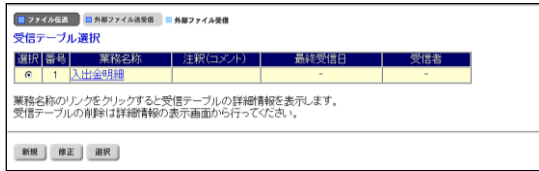
②論理ディスクファイルパス名を選択し、**実行** をクリックします。
※機能変更前は「送信テーブル作成」時に論理ディスクファイルパス名を指定していました。

アップロード中

ただいまファイルをアップロード中です。
しばらくお待ちください。

③「アップロード中」画面が表示されます
※機能変更前は「アップロード中」に進捗状況インジケータが表示され、アップロードの進捗状況が確認可能でした。
※ファイル伝送時もアップロード同様に、進捗状況インジケータが表示されなくなります。

[外部ファイルの受信]



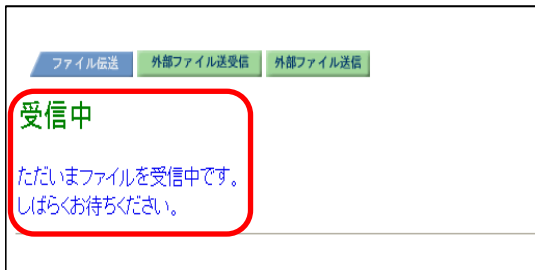
①受信する外部ファイルの「選択」欄にチェックを入れ、**選択**をクリックします。



②外部ファイルの内容を確認します。

③必要に応じて、サイクル番号を入力します。

④受信する場合は、「利用者確認暗証番号」を入力し、**受信**をクリックします。



⑤「受信中」画面が表示されます

※機能変更前は「受信中」に進捗状況インジケータが表示され、外部ファイル受信の進捗状況が確認可能でした。



⑥内容を確認します。

⑦**ファイルの保存**をクリックし、受信結果を任意の論理ディスクパスを選択し、保存します。

※機能変更前は、「受信テーブル作成」時に、論理ディスクパス名を指定し、受信用のファイルを事前にパソコン上に準備していました。

⑧**確認**をクリックします。